

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		海岸線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国駅		米納津上	7.6
運賃体系		対距離制 (初乗り 170 円、最大 410 円)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	355	362	273	361
年間利用者数 (人) (b)	0	0	0	0
平均利用者数 (人) (b/a)	0.0	0.0	0.0	0.0
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	1,731	1,781	1,468	1,833

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	えちぜん鉄道三国駅を起点とし、福井県最大の工業団地である「福井臨海工業地帯」を運行する路線である。
③当該路線の必要性	代替路線や交通手段がなく、三国西小学校への児童利用もあることから必要な路線であると考えられる。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	自社ホームページや作成したポケット時刻表等により、広報周知を行った。また、大手の交通系ポータルアプリ (ナビタイム) により、停留所やダイヤ検索が可能になった。
今後の取組みの予定、目標	通学利用に配慮した区間・ダイヤに変更するため、海岸線を一部廃止 (米納津上三国駅系統) し、新たに新保米納津線を新設し運行する。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要			
市町名 坂井市		路線名 高柳線	
起点 三国駅	主な経由地 楽円	終点 木部東	系統キロ程 (km) 6.0
運賃体系		対距離制 (初乗り 170 円、最大 320 円)	

2. 当該路線に係る指標				
年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	663	678	638	676
年間利用者数 (人) (b)	3,900	2,760	900	1,170
平均利用者数 (人) (b/a)	5.8	4.0	1.4	1.7
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	2,375	2,505	2,665	2,656

3. 当該路線の必要性	
①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	えちぜん鉄道三国駅と坂井市の坂井木部地区を運行する路線である。三国高校へ通う高校生の利用が多い。
③当該路線の必要性	代替路線や交通手段がなく、三国南小学校への児童利用もあることから必要な路線であると考えられる。

4. 接続する広域路線		
路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み	
R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	自社ホームページや作成したポケット時刻表等により、広報周知を行った。また、大手の交通系ポータルアプリ (ナビタイム) により、停留所やダイヤ検索が可能になった。
今後の取組みの予定、目標	朝1便目 (学童の通学利用) である高柳線の木部東7:25発と池見線の池見7:25発を統合して効率化を図る。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		陣ヶ岡線（循環系統）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国駅	雄島小学校・浜地	三国駅	12.8
運賃体系		対距離制（初乗り170円、最大620円）	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数（回） (a)	1,418	1,460	1,464	1,464
年間利用者数（人） (b)	50,882	53,584	54,298	52,284
平均利用者数（人） (b/a)	35.8	36.7	37.0	35.7
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	2,836	2,579	3,131	2,563

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の三国町雄島地区を運行する路線である。えちぜん鉄道三国駅を起点・終点とし、越前松島水族館や雄島小学校、浜地を経由する。
③当該路線の必要性	当該路線の運行する地域は交通空白地帯であり、代替路線や交通手段がないため、必要であると考えられる。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	自社ホームページや作成したポケット時刻表等により、広報周知を行った。また、大手の交通系ポータルアプリ（ナビタイム）により、停留所やダイヤ検索が可能になった。
今後の取組みの予定、目標	当該路線は、東尋坊周辺のフリーきっぷの対象ともなるため、より一層の広報周知を行い、利用促進を図っていききたい。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		陣ヶ岡線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国駅	春日神社	雄島小学校	2.7
運賃体系		対距離制 (初乗り 170 円、最大 220 円)	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	295.6	303	274	298
年間利用者数 (人) (b)	179	1,091	821	2,267
平均利用者数 (人) (b/a)	0.6	3.6	2.9	7.6
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	465	219	293	260

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	えちぜん鉄道三国駅から春日神社を経由して、坂井市立雄島小学校へ運行する路線である。雄島小学校に登校する児童の利用がある。
③当該路線の必要性	代替路線や交通手段がなく、雄島小学校への児童利用もあることから必要な路線であると考えられる。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	自社ホームページや作成したポケット時刻表等により、広報周知を行った。また、大手の交通系ポータルアプリ (ナビタイム) により、停留所やダイヤ検索が可能になった。
今後の取組みの予定、目標	雄島小学校への登校の児童利用が中心となる路線であることから、引き続き広報周知を続けていく予定である。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		三国坂井ルート（右回り）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国駅前	いねす	みくに市民センター	34.4
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数（回） (a)	1,665	1,660	1,523	1,452
年間利用者数（人） (b)	20,701	21,191	16,256	15,558
平均利用者数（人） (b/a)	12.4	12.7	10.6	10.7
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	13,875	13,704	13,150	12,582

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	市内高校に通学する高校生を中心に、通勤、通院、買物、娯楽と利用用途が広い路線である。現在、小型バスにて運行をしているが、1便目は乗り切れないため、続行便を運行させている。
③当該路線の必要性	旧三国町から坂井高校や丸岡高校に通う高校生の通学の足となっている。JR丸岡駅やコミュニティバスの基幹路線である丸岡春江ルートとの乗り継ぎ利用のためにも必要である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。令和元年度までは、利用者数が増加傾向であったが、令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響もあり、減少傾向にある。
今後の取組みの予定、目標	今後も上記の取組を継続実施する予定である。また、当該路線に接続するコミュニティバスの接続ルートに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		三国坂井ルート（左回り）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程（km）
三国駅前	いねす	みくに市民センター	33.9
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数（回）（a）	1,464	1,440	1,458	1,452
年間利用者数（人）（b）	18,385	18,612	11,862	11,363
平均利用者数（人）（b/a）	12.5	12.9	8.1	7.8
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	11,992	12,000	12,266	12,411

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	三国高校へ通う高校生の利用が最も多い路線である。また、高齢者の通院、買物、娯楽への日常の足となっている。利用の約7割を高校生が占めている。
③当該路線の必要性	三国高校へ通う高校生にとって不可欠な路線である。また、三国坂井ルートの右回りと同様にJR丸岡駅やもう一つのコミュニティバスの基幹路線である丸岡春江ルートとの乗り継ぎ利用のためにも必要である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。令和元年度までは、利用者数が増加傾向であったが、令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響もあり、減少傾向にある。
今後の取組みの予定、目標	今後も上記の取組を継続実施する予定である。また、当該路線に接続するコミュニティバスの接続ルートに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		丸岡春江ルート（右回り）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程（km）
霞の郷	いねす	丸岡バスターミナル	31.8
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数（回）（a）	1,464	1,440	1,458	1,452
年間利用者数（人）（b）	15,538	14,003	9,559	9,177
平均利用者数（人）（b/a）	10.6	9.7	6.5	6.3
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	11,553	11,556	12,041	12,472

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	市内の交通結節点であるJR春江駅、JR丸岡駅、いねすに接続するルートである。丸岡高校へ通学する高校生の利用が最も多い。
③当該路線の必要性	JRの各駅やコミュニティバス基幹ルートである三国坂井ルートにも接続する路線であり、高校生の通学および高齢者の日常の移動に不可欠である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
東尋坊線	京福バス	丸岡バスターミナル

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。平成30年度までは、利用者が増加傾向であったが、令和元年度以降は新型コロナウイルスの影響もあり、減少傾向にある。
今後の取組みの予定、目標	今後も上記の取組を継続実施する予定である。 また、当該路線に接続するコミュニティバスの接続ルートに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		丸岡春江ルート（左回り）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
霞の郷	いねす	霞の郷	32.0
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数（回） (a)	1,464	1,440	1,458	1,452
年間利用者数（人） (b)	15,302	14,265	8,556	8,760
平均利用者数（人） (b/a)	10.4	9.9	5.8	6.0
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	11,608	11,610	12,098	12,530

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	市内の交通結節点であるJR春江駅、丸岡駅、いねすに接続するルートである。丸岡高校へ通学する高校生の利用が最も多い。
③当該路線の必要性	JRの各駅やコミュニティバス基幹ルートである三国坂井ルートにも接続する路線であり、高校生の通学および高齢者の日常の移動に不可欠である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
東尋坊線	京福バス	丸岡バスターミナル

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。平成30年度までは、利用者が増加傾向であったが、令和元年度以降は新型コロナウイルスの影響もあり、減少傾向にあったが、少しずつ利用者が戻ってきている状況にある。
今後の取組みの予定、目標	今後も上記の取組を継続実施する予定である。 また、当該路線に接続するコミュニティバスの接続ルートに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		雄島ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国病院	三国駅前	みくに市民センター	17.4
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数 (人) (b)	2,800	2,709	2,175	1,851
平均利用者数 (人) (b/a)	3.8	3.7	2.9	2.5
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	3,080	3,083	3,151	3,188

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	交通空白地帯である坂井市三国町雄島地区から、えちぜん鉄道三国駅を経由して、坂井市立三国病院および三国支所に向かう路線である。利用者はほぼ10割が高齢者で、三国病院への通院を目的としている。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通区泊地帯である。えちぜん鉄道三国駅や路線バスの広域路線、コミュニティバスの基幹ルートと接続しており、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。平成30年度より、利用者が減少傾向であったが、令和元年度以降は新型コロナウイルスの影響もあり、減少傾向にある。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。 また、1日3便のみの運行であり、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		加戸・三国東部ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国病院	三国駅前	三国病院	30.5
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数(回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数(人) (b)	2,745	2,915	2,194	2,186
平均利用者数(人) (b/a)	3.7	4.0	3.0	
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	4,462	4,330	4,713	4,773

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	交通空白地帯である坂井市三国町加戸地区および三国東部地区から、えちぜん鉄道三国駅を経由して、坂井市立三国病院および三国支所に向かう路線である。利用者はほぼ10割が高齢者で、三国病院への通院を目的としている。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通区泊地帯である。えちぜん鉄道三国駅や路線バスの広域路線、コミュニティバスの基幹ルートと接続しており、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。令和元年度まで、利用者が増加傾向であったが、令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響もあり、減少傾向にある。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。また、1日3便のみの運行であり、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		浜四郷ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国病院	三国駅前	三国病院	26.3
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数 (人) (b)	2,173	2,195	2,400	2,578
平均利用者数 (人) (b/a)	2.9	3.0	3.2	3.6
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	3,839	3,725	4,054	4,106

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	交通空白地帯である坂井市三国町浜四郷地区から、えちぜん鉄道三国駅を經由して、坂井市立三国病院および三国支所に向かう路線である。利用者はほぼ10割が高齢者で、三国病院への通院を目的としている。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通区泊地帯である。えちぜん鉄道三国駅や路線バスの広域路線、コミュニティバスの基幹ルートと接続しており、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。令和元年度まで利用者の減少が続いていたが、令和2年度より徐々に利用者が戻ってきている状況にある。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。また、1日3便のみの運行であり、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		坂井ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
いねす	坂井市役所	いねす	41.8
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数 (人) (b)	1,671	1,518	1,477	1,454
平均利用者数 (人) (b/a)	2.2	2.1	2.0	2.0
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	6,109	5,928	6,452	6,534

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧坂井町内の地区を運行する路線である。坂井市のコミュニティバスの基幹ルートが接続する地域交流センターいねすを起点・終点とし、坂井市役所やJR丸岡駅を経由する。利用者のほぼ10割は高齢者である。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。JR丸岡駅やコミュニティバス接続路線と接続しており、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
なし		

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。平成30年度までは利用者が増加傾向であったが、新型コロナウイルスの影響もあり、令和元年度以降は減少傾向にある。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。また、1日3便のみの運行であり、系統キロ程が非常に長く、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		春江北部東部ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
春江支所	JR春江駅	春江支所	35.1
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数 (人) (b)	3,652	2,984	3,134	3,751
平均利用者数 (人) (b/a)	4.9	4.1	4.2	5.2
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	6,340	6,398	6,454	5,952

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧春江町北部および東部の地区を運行する路線である。坂井市役所春江支所を起点・終点とし、春江病院やJR春江駅を経由する。利用者のほぼ10割は高齢者で、春江病院の通院や春江支所・JR春江駅への買物や娯楽が主な利用目的である。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。JR春江駅と接続しており、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
なし		

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。令和元年度において、利用者が大きく落ち込んだが、令和2年度に引き続き、利用者は増加傾向にある。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。また、1日3便のみの運行であり、系統キロ程が非常に長く、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		春江西部中部ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
春江支所	JR春江駅	春江支所	34.2
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数 (人) (b)	3,128	3,114	2,731	2,529
平均利用者数 (人) (b/a)	4.2	4.3	3.7	3.5
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	6,165	6,222	6,276	5,788

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧春江町中部および西部の地区を運行する路線である。坂井市役所春江支所を起点・終点とし、春江病院やJR春江駅を経由する。利用者のほぼ10割は高齢者で、春江病院の通院や春江支所・JR春江駅への買物や娯楽が主な利用目的である。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。JR春江駅と接続しており、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
なし		

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。令和元年度末までは利用者が増加傾向であったが、以降は減少となっている。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。また、1日3便のみの運行であり、系統キロ程が非常に長く、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		長畝ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
霞の郷	丸岡バスターミナル	霞の郷	15.5
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数 (人) (b)	373	172	90	418
平均利用者数 (人) (b/a)	0.5	0.2	0.1	0.6
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	2,816	2,816	2,669	2,423

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧丸岡町北部の長畝地区を運行する路線である。温泉施設「霞の郷」を起点・終点とし、交通結節である丸岡バスターミナルを経由する。利用のほぼ10割は高齢者である。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。利用者は非常に少ないが、路線バスの広域路線とコミュニティバスの基幹ルートと接続し、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
東尋坊線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。平成29年度より、利用者の減少が続いていたが、令和3年度においては利用者が増加した。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。また、1日3便のみの運行であり、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		高椋西ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
霞の郷	丸岡バスターミナル	霞の郷	20.3
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数 (人) (b)	963	451	275	288
平均利用者数 (人) (b/a)	1.3	0.6	0.3	0.4
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	3,657	3,691	3,723	3,433

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧丸岡町の高椋地区、舟寄地区、磯部地区の一部を運行する路線である。温泉施設「霞の郷」を起点・終点とし、交通結節点である丸岡バスターミナルを経由する。利用者のほぼ10割は高齢者である。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。利用者は非常に少ないが、路線バスの広域路線とコミュニティバスの基幹ルートと接続し、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
東尋坊線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。平成30年度までは利用者が増加していたが、令和元年度以降はコロナウイルスの影響もあり、大きく減少に転じた。令和3年度も利用者数については以前として減少傾向にある。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。また、1日3便のみの運行であり、系統キロ程が非常に長く、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		高椋中ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
霞の郷	丸岡バスターミナル	霞の郷	21.0
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数(回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数(人) (b)	1,436	1,542	869	1,090
平均利用者数(人) (b/a)	1.9	2.1	1.1	1.5
国庫補助額(千円)	0	0	0	0
市町補助額(委託額)(千円)	3,815	3,816	3,616	3,282

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧丸岡町の高椋地区および磯部地区の一部を運行する路線である。温泉施設「霞の郷」を起点・終点とし、交通結節点である丸岡バスターミナルを経由する。利用者のほぼ10割は高齢者である。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。路線バスの広域路線とコミュニティバスの基幹ルートと接続し、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
東尋坊線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。令和元年度まで利用者が年々増加していたが、令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響により大きく減少したが、令和3年度に入り、徐々に利用者が戻ってきている状況にある。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。また、1日3便のみの運行であり、系統キロ程が非常に長く、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		鳴鹿ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
霞の郷	丸岡バスターミナル	霞の郷	23.4
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	732	720	729	726
年間利用者数 (人) (b)	1,251	741	672	409
平均利用者数 (人) (b/a)	1.7	1.0	0.9	0.6
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	4,222	4,261	4,298	3,964

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧丸岡町の高椋東地区および鳴鹿地区を運行する路線である。温泉施設「霞の郷」を起点・終点とし、交通結節点である丸岡バスターミナルを経由する。利用者のほぼ10割は高齢者である。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。利用者は非常に少ないが、路線バスの広域路線とコミュニティバスの基幹ルートと接続し、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
東尋坊線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。平成29年度より、利用者の減少が続いている。
今後の取組みの予定、目標	ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、利用促進に努める。また、1日3便のみの運行であり、系統キロ程が非常に長く、ダイヤの選択肢が少ない路線であるため、それに代わる移動手段として「オンデマンド型交通」の導入を目指しており、令和3年度より丸岡町磯部地区、春江町春江東部地区では「オンデマンド型交通」の実証実験を開始した。利用者のアンケート結果等を踏まえて様々なニーズに応えられる新たな交通手段として普及を目指す。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		三国運動公園線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国駅	三国病院	三国駅	8.8
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	1,464	1,446	1,446	1,446
年間利用者数 (人) (b)	1,806	1,742	2,034	1,752
平均利用者数 (人) (b/a)	1.2	1.2	1.4	1.2
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	4,854	5,052	5,302	5,101

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧三国町の三国地区および雄島地区の一部を運行する路線である。えちぜん鉄道三国駅を起点・終点とし、坂井市立三国病院を経由する。利用者のほぼ10割は高齢者であり、えちぜん鉄道三国駅および三国病院の利用がほとんどである。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。えちぜん鉄道三国駅や路線バスの広域路線、コミュニティバスの基幹ルートと接続し、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。令和元年度まで、利用者の減少が続いていたが、令和2年度では増加となった。一度は増加傾向にあった利用者も新型コロナウイルスの影響もあり、令和3年度においては再度減少に転じた。
今後の取組みの予定、目標	上記での取組を継続するとともに、ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、より一層の利用促進に努める。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		竹田線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
竹田	丸岡高校	丸岡バスターミナル	14.1
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	H30	R1	R2	R3
年間運行回数 (回) (a)	3,650	3,650	3,650	3,650
年間利用者数 (人) (b)	12,635	12,457	8,537	9,396
平均利用者数 (人) (b/a)	3.4	3.4	2.3	2.6
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	14,987	7,098	8,052	7,237

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市東部の中山間地域である竹田地区から路線バス、コミュニティバスが接続する丸岡バスターミナルまでを運行する路線である。利用の中心はほぼ高齢者であるが、朝および夕の便においてはスクールバスとして併用運行されている。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。中山間地域からの唯一の公共交通手段であり、路線バスの広域路線とコミュニティバスの基幹ルートと接続し、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。また、地区外の小学校に通うスクールバスとしても必要不可欠である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
東尋坊線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

R3年度に実施した取組みおよびその結果・効果	利用実態を把握するため、OD調査を実施した。また、市の広報誌を通じて利用促進を呼びかけるとともに、免許返納者への乗車無料券を交付する取組を実施し、利用促進に努めた。平成30年度までは、利用者が増加傾向であったが、令和2年度において、新型コロナウイルスの影響により大きく減少した。令和3年度より、徐々にだが利用者が戻ってきている状況にある。
今後の取組みの予定、目標	上記での取組を継続するとともに、ホームページやSNS、広報誌等を通じた周知により、より一層の利用促進に努める。